



野志 克仁 2期目の取組状況のご報告

皆様のご支援により、平成26年11月から、2期目の松山市政をお預かりして約3年半が経ちました。

この間ずっと、「一人でも多くの人を笑顔に 幸せ実感都市まつやま」の実現に向けて、全力で取り組んでいます。

この度、皆様とお約束した「8つの幸せ実感と30の幸約(公約)」について、柱ごとに取組状況をご報告させていただきます。(平成30年3月末現在)



1. 子育て・教育で幸せ実感

幸約1 幼稚園・保育園の一元化や児童クラブの整備などを行うほか、市独自の取り組みを積極的に進め、入園できない児童ゼロを目指します。

主な取組実績

- ・既存幼稚園、保育園から「認定子ども園」への移行を支援し30園まで拡充
- ・小規模保育や事業所内保育など、地域型保育事業を24箇所まで拡充
- ・保育施設を3年間で43施設増やし、109施設まで拡充
- ・保育定員を3年間で1,442人増やし、7,637人分の受け入れを確保
- ・児童クラブを3年間で38クラブ、1,432人分増やし、約5,000人の児童を受入れを確保



▲ 保育所の様子



▲ 放課後児童クラブ

松山市の保育定員と入所児童数の推移



松山市の児童クラブ数・登録児童数の推移

	H26	H27	H28	H29
クラブ数	64	83	98	102
児童数	3,536人	4,099人	4,726人	4,968人

幸約2 子どもの医療費が無料になる年齢の引上げや母子・父子家庭の医療費の無料化を充実させ、子育て世帯の経済負担を軽減するため、中学3年生までの入院費の無料化を実現します。

主な取組実績

- ・子どもの入院費無料化の対象を中学3年生まで拡大
- ・ひとり親家庭の医療費助成の対象に父子家庭を追加
- ・低所得者世帯等を対象に、放課後児童クラブの利用料の減免を実施
- ・第2子以降出生児に紙おむつ購入補助を開始



▲ 市急患医療センター

幸 約 3 児童館の増設やアスレチック広場の整備、総合コミュニティセンターこども館や野外活動センターの魅力アップなど、子どもたちの遊び場を充実します。

主な取組実績

- ・保健センター北条分室（北条文化の森）を改修し、「北条児童センター」を整備（市内8館目の児童館）
- ・旧北条スポーツセンター解体跡地を活用し、レクリエーション広場「波妻の鼻わくわくランド」を整備
- ・総合コミュニティセンターこども館に、「子育てひろばToi Toi Toi（トイトイトイ）」を開設
- ・市民参画によるこども館活性化の組織「こども館クラブ」を設置し、親子で楽しめるイベントを開催
- ・野外活動センターに、合宿誘致等を目的とした「管理棟」を整備



▲ 北条児童センター



▲ 波妻の鼻 わくわくランド



▲ 子育てひろばToi Toi Toi

幸 約 4 芝生化の継続、エアコンや洋式トイレの整備、ICT教育を推進するためのタブレットPCの整備など、子どもたちの成育・学習環境を充実します。

主な取組実績

- ・運動場の芝生化を継続、新たに河野小学校グラウンドを芝生化
- ・全ての市立幼稚園・中学校、島しょ部の小学校のエアコン整備完了（平成30年度中に全小学校の整備完了予定）
- ・小中学校のトイレの洋式化を進め、半数以上の便器を洋式化
- ・全小中学校のパソコン教室に1人1台分のタブレットPCを配備
- ・東雲小学校・余土中学校の新校舎を整備



▲ エアコン設置後の教室



▲ 余土中学校新校舎

幸 約 5 教育センターを設置して授業内容や教員のレベルアップを図ります。子どもたちと一緒に「いじめ」をなくそうとする取り組みや、官民一体の青少年健全育成を推進します。

主な取組実績

- ・「松山市教育研修センター」を開設し、授業内容の研究や教職員研修を充実
- ・「松山市いじめ防止基本方針」を運用開始し、いじめ対策を強化
- ・「まつやま・いじめ0の日」（=毎月10日）など、子どもたちが主体となった取組を推進
- ・「土曜塾」の実施場所、対象者を拡充（中学3年生の高校進学率100%）
- ・「キッズジョブまつやま」を開催（医療・福祉・サービス業など66ブースに約1,800人参加）



▲ 松山市教育研修センター



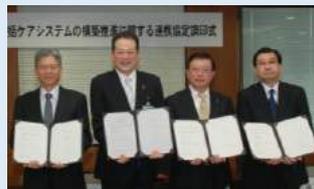
▲ いじめ0ミーティング

2. 福祉・医療で幸せ実感

幸約 6 高齢の方や障がいのある方が、住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせるよう、地域や社会との交流を促し、見守り支え合う体制を強化します。

主な取組実績

- ・ **地域包括ケアシステムの構築に向け4事業をスタート**
 - ①介護予防・生活支援サービス事業
 - ②在宅医療・介護連携推進事業
 - ③認知症施策推進事業
 - ④生活支援体制整備事業
- ・ 「松山市権利擁護センター」を設置
- ・ 「松山市北部福祉交流の家」を整備
- ・ 「松山市見守りネットワーク」など、見守り体制を強化
- ・ 地域福祉活動を支えるボランティアの育成、支援を充実



◀ 松山市医師会、松山市歯科医師会、松山薬剤師会と地域包括ケアシステム構築推進に関する連携協定を締結



▲ふれあいいきいきサロン「サロン農園」

幸約 7 365日24時間小児救急をはじめとする救急医療体制を堅持します。がん・生活習慣病・歯の検診の受診率を向上させ、予防医療の充実を図ります。

主な取組実績

- ・ **365日24時間小児救急医療体制を堅持**
- ・ 松山市急患医療センターに出務する小児科医確保のため、愛媛大学医学部に寄附講座を開設
- ・ **松山圏域3市3町の二次救急医療体制を強化**
- ・ 愛媛県立中央病院の隣接地に常設型「救急ワークステーション」開設（四国初）
- ・ 胃がん検診に胃内視鏡検査を導入
- ・ 各種がん検診、特定健康診査、個別妊婦歯科健康診査、節目歯周病検診の受診を推進



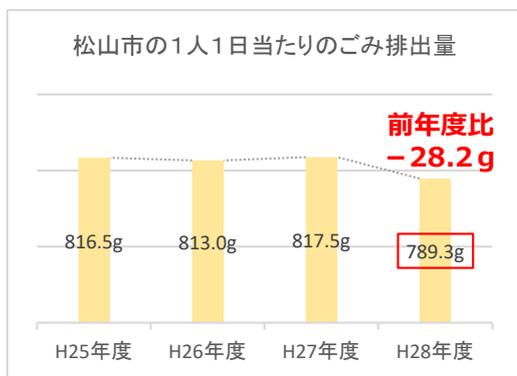
▲ 救急ワークステーション

3. 環境・安全安心 で幸せ実感

幸約 8 「環境モデル都市」として太陽光発電等の利用促進を目指すサンシャインプロジェクトなどを推進します。ごみ減量・リサイクルを推進し、全国トップレベルの少ないごみ排出量を維持します。

主な取組実績

- 太陽光発電システムの設置補助件数及び出力合計は中核市最多、世帯普及率は全国トップクラス
- 住宅用蓄電池の設置者に対する補助をスタート
- 中島支所に「BEMS（ビル・エネルギー・マネジメント・システム）」を導入
- 中央浄化センターに「消化ガス発電設備」を整備し、売電を実施（中四国初）
- 横谷埋立センターに「エコ次亜生成施設」を整備し、下水処理場で消毒剤として利用（日本初松山方式）
- 市民1人1日あたりのごみ排出量（人口50万人以上の都市）9年連続最少を達成、全国トップクラスの少なさを維持
- 飲食店等での食べ残しを減らす「3010（さんまるいちまる）運動」を推進



▲ 消化ガス発電設備通電式
(中央浄化センター)



▲ エコ次亜生成施設
(横谷埋立センター)

幸約 9 不法投棄の防止対策を強化します。原因者に対する徹底した責任追及を前提に、愛媛県と連携しながら、産業廃棄物処理問題への適切な対応を行い、地域住民の安全を確保します。

主な取組実績

- 支障等除去等対策工事を計画通り着実に実施（平成30年度未完了予定）
- 原因者に対して徹底した責任追及を実施
(措置命令などの行政処分、命令違反に対する刑事告発、代執行費用の求償)
- 愛媛県と、財政的、人的及び技術的支援に関する協定を締結
- 再発防止策を定め、処理業者等への立入検査を強化
- 不法投棄防止パトロールに加え、年6回スカイパトロールを実施

主な取組実績

- ・全41地区で自主防災組織を結成（結成率100%）、防災士数 全国1位を維持
⇒自主防災組織ネットワーク会議が「平成28年防災功労者 内閣総理大臣賞」を受賞
- ・消防団員数 四国1位、女性消防団員数 全国1位を維持
- ・市内の防災関係団体の連携を強化するため「松山市地域防災協議会」を設立
- ・地元大学と連携して学生の防災士資格取得を促進し、500人以上の大学生防災士が誕生、愛媛大学防災リーダークラブを結成
⇒若い世代への防災教育が評価され「第22回防災まちづくり大賞（日本防火・防災協会会長賞）」を受賞
- ・小中学校体育館の窓ガラスに飛散防止フィルムを貼付け
- ・避難所となる施設に備蓄物資や資機材を追加配備、公民館への分散備蓄を開始



▲ 事業所消防団員



▲ 自主防災組織ネットワーク会議が平成28年防災功労者 内閣総理大臣賞を受賞



▲ 地区防災訓練



▲ 大学生防災サバイバル



▲ 地区の自主防災組織と連携し、小中学校体育館窓ガラスに飛散防止フィルム貼付け



▲ 熊本市への支援物資の提供

幸約
11

小中学校、幼稚園、保育所、公民館、道路橋梁などの耐震化を進めます。一般木造住宅や特定の民間の病院・ホテルなどの耐震化を支援します。

主な取組実績

- ・当初の計画を5年前倒して**全ての小中学校校舎の耐震化を完了（耐震化率100%）**
- ・**全ての市立幼稚園園舎の耐震化も完了（耐震化率100%）**
- ・耐震化が必要な保育所4園について、今後の方針を検討
- ・耐震化が必要だった余土公民館は、中学校施設を有効活用して改修整備
- ・耐震化が必要な重要橋梁2橋の設計を実施（平成30年度から耐震化工事に着手予定）
- ・木造住宅の耐震診断補助金を拡充、耐震診断技術者の派遣を開始するなど、耐震化を促進
- ・民間特定建築物の耐震改修設計と耐震改修工事費用の一部を補助し、耐震化を促進



▲ 耐震化された校舎



▲ 熊本地震での現地調査の様子

幸約
12

市議会の決議に基づき、西条の水を守る立場で、西条分水を基本とした新規水源確保に努めます。水需給計画の精査も行います。

主な取組実績

- ・西条市、新居浜市、愛媛県、松山市の4者で構成する「水問題に関する協議会」幹事会で協議を継続
- ・平成16年2月に策定した「**長期的水需給計画**」が目標年次を迎えたことから、検証を行い、**「長期的水需給計画基本計画（改訂版）」**を策定
- ・愛媛県からの「**西条と松山の水問題に対する6つの提案**」に対して回答を行い、西条市長にも回答内容を説明、水問題への協力を依頼



▲ 石手川ダム



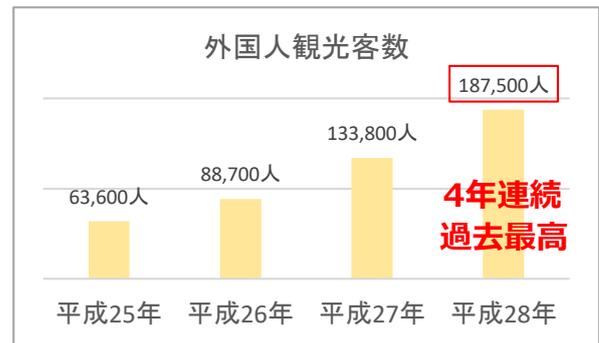
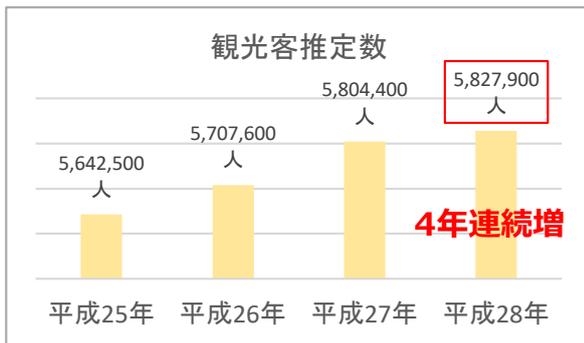
▲ 「6つの提案」に対して愛媛県に回答

4. 産業・雇用 で幸せ実感

幸約 13 瀬戸内・松山構想や新ゴールデンルートとの連携を強化し、中四国を周遊する観光ルートを定着させます。スポーツや文化・文学との連動により更なる誘客に取り組みます。

主な取組実績

- ・国が認定した7つの広域観光周遊ルートのうち2つで、松山が広域拠点地区に位置付け
 - せとうち・海の道（瀬戸内ブランド推進連合、瀬戸内観光ルート誘客促進協議会）
 - スピリチュアルな島～四国遍路～（四国ツーリズム創造機構）
- ・観光客推定数は4年連続増加で、582万7,900人（H28）
- ・外国人観光客は4年連続で過去最高を更新し、18万7,500人（H28）
- ・JRグループ全6社による国内最大の送客キャンペーン「四国DC（デスティネーション・キャンペーン）」開催
- ・他都市、大学、企業との連携による誘客促進（東京理科大学、新宿区、熊本市、横須賀市、斑鳩町、株式会社ぐるなび、資生堂など）



▲ 新宿区との連携



▲ 東京理科大学との連携



▲ 株式会社ぐるなびとの連携

幸約 14 積極的な修学旅行の誘致を行います。「おもてなし日本一のまち」へ向けた取り組みを強化し、地域の活性化とリピーターの確保に努めます。

主な取組実績

- ・平成17年度には0校だった修学旅行誘致件数が平成28年度には64校、約1万人にまで増、経済効果は約1億6,700万円
- ・AKBメンバー3名が松山おもてなし大使に就任
- ・産官学連携による観光客歓迎ムードを醸成
- ・えひめ国体・えひめ大会で、官民一体となって松山らしい「おもてなし」を実施



▲ 修学旅行生を「瀬戸内・松山観光アンバサダー」に任命

幸約 15 中小企業が元気になるよう、創業支援や販路拡大など様々な中小企業支援プログラムを実行します。各産業における担い手の育成や企業誘致による雇用の拡大、高齢者や女性の雇用対策に取り組みます。

主な取組実績

- ・松山市中小企業振興条例に基づき、「松山市中小企業振興計画」を策定
- ・産官学金で構成する「中小企業振興円卓会議」からの意見を施策に反映
- ・「まつやま経営交流プラザ」（銀天街ゲット内）を「未・来（みらくる）Jobまつやま」にリニューアル、機能を拡充し、創業・経営・就労支援などをワンストップで実施
- ・**創業者支援を充実**（融資制度の拡充や利子補給制度の創設など）
- ・松山圏域3市3町で連携し、「松山圏域中小企業販路開拓市」を開催
- ・商店街活性化アドバイザーの派遣や**事業継承の支援を新たに実施**
- ・就農希望者や新規就農者への支援により、3年間で79人が新規就農
- ・2期目就任以降、**20企業の立地と約330億円の設備投資を実現、1,100人超の雇用を創出**
- ・「いきいき仕事センター」での相談支援など、高齢者の活躍を支援
- ・セミナーや交流会の開催のほか児童館での出張個別相談など、女性の再就職を支援
- ・「働き方改革支援プロジェクト」を展開（サイボウズ株式会社と「働き方改革先進都市まつやまの実現に向けた連携協定」を締結、まつやま働き方改革推進会議設立）



▲ 中小企業販路開拓市



▲ 株式会社デジタルハーツの事業拠点開設に係る立地協定締結



▲ 高齢者就労総合相談窓口「いきいき仕事センター」

幸約 16 愛情込めて育てた農産物を守るために有害鳥獣対策を強化します。農林水産物ブランド品目の拡大とトップセールスによる販路開拓、アボカドやライムの産地化を目指します。

主な取組実績

- ・**有害鳥獣対策を強化**（狩猟免許取得経費の支援や捕獲奨励金の交付、電気柵などの購入費支援、モンキードッグの導入、感知センサー付き箱わな設置など）
- ・愛媛大学と連携し有害鳥獣の生息状況や行動範囲の調査を実施、地域ぐるみの対策を推進
- ・**新たな農林水産物ブランドに「松山ひじき」「グニーユーカリ」を認定（現在10品目）**
- ・柑橘以外の品目（松山一寸そらまめ、松山長なす、松山ひじき）のトップセールスを新たに実施
- ・ブランド製品の新規取扱店舗数は、4年間で約250店舗 増
- ・アボカドとライムの栽培を推進、認知度向上・販路拡大に向け、「第1回 日本アボカドサミット」を開催



▲ モンキードッグ



▲ 松山産アボカド



▲ 東京・大田市場での紅まどんなのトップセールス



▲ 松山ひじき



▲ グニーユーカリ

5. スポーツ・文化 で幸せ実感

幸 約
17 愛媛マラソンのさらなる活性化と、年齢や体力に応じて誰もが参加できるウォーキング・マラソン・サイクリングなどの新たな大会の開催に取り組みます。

主な取組実績

- ・愛媛マラソンの参加者が1万人超え、平成30年2月開催の第56回大会の経済効果は5億1,483万円
- ・「『坂の上の雲』のまちサイクルロゲイニング大会」「しまのわ学校体育祭inごごしま」など、新たな大会を開催
- ・「坊っちゃんランラン大会」や「えひめ5時間リレーマラソン」、「マツヤマお城下リレーマラソン」など既存大会の参加人数やチーム数を拡大



▲ 愛媛マラソン



▲ 「坂の上の雲」のまち
サイクルロゲイニング大会

幸 約
18 愛媛国体を成功させます。ボール遊びやゲートボール・グランドゴルフなどを楽しむことができる公園や各種競技施設の充実など、日頃からスポーツに親しむ環境の整備を進めます。

主な取組実績

- ・えひめ国体・えひめ大会で、単独の市としては国体史上最多の32競技36種目を実施
⇒松山市開催競技等への参加者数は延べ約34万人、経済波及効果は約292億円
- ・国体に向けて、松山中央公園や総合コミュニティセンター、北条スポーツセンターなどで、施設を充実
- ・ボール遊びができる公園を整備（現在、12箇所）
- ・北条スポーツセンター野球場（2面）を整備
（ゲートボールやグラウンド・ゴルフ、ペタンク等でも利用可）



▲ 愛顔つなぐえひめ国体（開会式）



▲ 愛顔つなぐえひめ大会



▲ 北条スポーツセンター野球場

幸約
19

外国チームの東京オリンピック事前合宿や3度目のプロ野球オールスターゲームの誘致に挑戦します。愛媛FC、愛媛マンダリンパイレーツ、松山フェニックスなどに対する支援を行い、スポーツでまちを元気にします。

主な取組実績

- ・2020東京オリンピックに向けて、台湾チームの事前合宿誘致活動を実施し、ホストタウンに登録
- ・ラグビーワールドカップ2019に向けて、代表チームのキャンプ地誘致活動を実施
- ・3度目のプロ野球オールスターゲーム開催に向けて誘致活動を実施
- ・試合の告知やイベント開催、小中学生無料招待などにより、愛媛FCや愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングスなど、地元プロスポーツを支援



▲ 台湾チームの合宿誘致に向けた台北市長へのトップセールス



▲ 東京ヤクルトスワローズの秋季キャンプを継続

幸約
20

正岡子規・夏目漱石生誕150年の機会などを活かし、俳句や文学をはじめとした「ことば」にこだわった特徴的な政策を展開します。

主な取組実績

- ・俳人の夏井いつきさんを「俳都松山大使」に任命し、東京や大阪、台湾・台北市などでPRイベントを実施
- ・正岡子規、夏目漱石、柳原極堂の生誕150年記念事業を実施
 - 子規記念博物館の常設展リニューアル
 - 子規・漱石・極堂生誕150年記念式典を開催
 - 第20回俳句甲子園に、過去最多の41都道府県、121校、159チームが出場
 - 第15回坊っちゃん文学賞で、新たにショートショート部門を設立、小説部門と合わせて1,941点の応募、表彰式に漱石アンドロイド出席
 - 坂の上の雲ミュージアム開館10周年を記念して、子規と秋山好古・真之兄弟の3人を同時に取り上げた企画展を開催
 - International Photo-Haiku Festivalシンポジウムを開催



▲ 俳都松山大使 夏井いつきさん



▲ 正岡子規・夏目漱石・柳原極堂生誕150年記念式典



▲ 第20回俳句甲子園

6. 交通 で幸せ実感

幸 約
21 松山外環状道路や J R 松山駅周辺の整備によって、交通環境や交通拠点機能を充実します。

主な取組実績

- ・松山外環状道路「インター線」（松山IC～国道56号）の自動車専用道路が全線開通
- ・「空港線」（国道56号から松山空港）の側道部分が開通
⇒松山空港から松山ICまでの所要時間が、整備前の35分から整備後は14分に短縮
- ・「インター東線（仮称）」（国道56号～国道33号）などの事業化に向け、愛媛県、東温市と合同で国に要望
- ・愛媛県が実施する「JR松山駅付近連続立体交差事業」に合わせて、松山市が「土地区画整理事業」を実施し、駅の西側地区で住宅の撤去や宅地造成が完了
- ・「車両基地跡地整備基本構想」を策定するなど、駅周辺のまちづくりについて検討



▲ 松山外環状道路

幸 約
22 コンパクトシティを活かすため、自転車共同利用システムやパーク＆ライドを推進します。連結 L R T（低床路面電車）、路面・郊外電車のシームレス化、空港延伸など公共交通の見直しへ挑戦します。

主な取組実績

- ・ J R 伊予北条駅近くのスーパー駐車場で、パーク＆ライドを開始
- ・伊予鉄道が実施する郊外駅の交通結節点整備に補助（余戸駅、久米駅）
- ・自転車共同利用システム、連結 L R T の導入、路面電車と郊外電車のシームレス化、路面電車の空港延伸について、県や交通事業者、学識経験者などとともに調査検討
- ・伊予鉄道が導入した新型 L R T 車両 2 両の購入費に対し補助
- ・「L R T 都市サミット松山2017」を開催



▲ 新型 L R T 車両

7. 地域の宝 で幸せ実感

幸 約 23 椿の湯改築や道後温泉本館の改修を行います。上人坂の再生、芸術や笑いをはじめとするエンターテインメントなどにより道後を活性化します。

主な取組実績

- ・市営では33年ぶりの新たな温泉施設「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉（あすかのゆ）」がオープン
- ・椿の湯を改修し、飛鳥乃湯泉と一体的に整備
- ・道後温泉本館の保存修理工事に向けて、工事期間や工事の方法、期間中の誘客策、情報発信について検討
- ・道後温泉本館工事費用のクラウドファンディングを実施
- ・上人坂の再生について地元関係者と検討、上人坂の道路拡幅工事を実施
- ・「道後オンセナート2014」以降、継続してアート事業を実施し、4年ぶりに「道後オンセナート2018」を展開（～平成31年3月まで）
- ・道後温泉宿泊者数は96万1,000人、平成13年以降で最高
- ・「おんな一人旅に人気の温泉地ランキング」4年連続1位、「温泉総選挙2016」女子旅部門1位



▲「飛鳥乃湯泉」オープン



▲「飛鳥乃湯泉」と中庭の「椿の森」



▲ 改装した「椿の湯」と湯の川、温泉碑



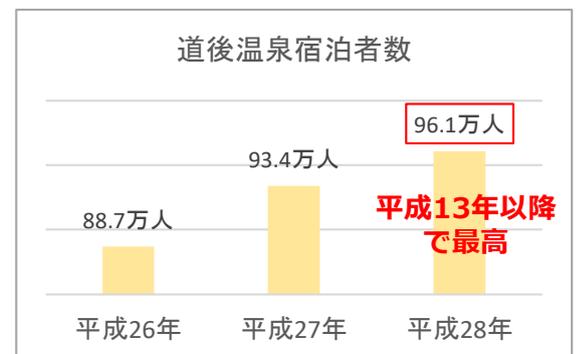
▲「飛鳥乃湯泉」エントランス



▲「道後アート2015」写真家・蜷川実花さんがデザインした浴衣



▲「道後オンセナート2018」は、平成29年9月にプレオープン



一番町口、二番町、L字地区の再開発の支援、堀之内公園のイベントの充実や花園町通りの空間再編、アーバンデザインセンターを活用した広場や緑の創出など、中心市街地を活性化します。

主な取組実績

- ・一番町大街道口に「アエル松山」オープン、再開発に合わせ、地元商店街がアーケードのリニューアル、国が車道のカラー舗装、松山市が一番町交差点周辺の景観整備を実施
⇒「2016年度都市景観大賞 都市景観部門 国土交通大臣賞（最高位）」を受賞
- ・二番町三越前の民間ビル再開発と立体的遊歩道の整備を支援
- ・銀天街L字地区の「湊町三丁目C街区地区」、松山国際ホテル周辺の「一番町一丁目・歩行町一丁目地区」で地権者等が再開発準備組合を設立
- ・堀之内や松山城でイベントを開催
(ゆるキャラグランプリ、えひめ・まつやま産業まつり、光のおもてなしin松山城、全国城サミットin松山など)
- ・道路空間の改変、電線類の地中化、景観整備により、「花園町通り」がリニューアル、地元主催のマルシェイベントなど新たな賑わいが創出
- ・アーバンデザインセンターが「2016年度グッドデザイン賞」受賞
- ・「みんなのひろば」が「平成28年度 まちなかひろば賞」大賞 など受賞



▲ アエル松山



▲ みんなのひろば



▲ 湊町三丁目C街区地区再開発イメージ



▲ 一番町一丁目・歩行町一丁目地区再開発イメージ



▲ 生まれ変わった「花園町通り」



▲ ゆるキャラグランプリ2016
in愛顔のえひめ



▲ 光のおもてなしin松山城

幸 約 三津の朝市など、歴史あふれる資源を活かした地域主体の特色ある取り組みを支援しま
25 す。

主な取組実績

- ・三津浜にぎわい創出事務所「三津ハマル」で「町家バンク」を運営
⇒3年間で32件をマッチング、うち21件で新規出店、14人が移住
- ・チャレンジショップを開設し、サイクリングカフェと飲食店がオープン
- ・「全国ご当地こなもんサミット」を開催するなど、「三津浜焼き」をPR



▲ 三津ハマル

幸 約 「風早レトロタウン構想」や「愛ランド里島構想」に基づき、北条地区や島しょ部の特性を活かし
26 た魅力づくりを行います。

主な取組実績

- ・鹿島での海開きイベントやJR北条駅前での「風早にぎわいまつり」など、賑わいイベント開催
⇒鹿島海開きイベントには約7,100人が来場（H29）、北条駅前通りに新規で7店舗がオープン
- ・郷土料理「北条鯛めし」のブランド化、「祭都風早」のブランド化を推進
- ・里島ツーリズムの体験メニュー数は83、参加者は1万人超（H28年度）
- ・廃校となった旧教員住宅を活用した神浦定住促進施設、
興居島の廃校跡地を利用した移住交流施設「ハイムインゼルごごしま」を整備



▲ 松山市・北条市・中島町の合併から10周年を迎え、記念式典を開催



▲ 北条・鹿島に鹿園を整備



▲ ハイムインゼルごごしま

8. 市民主体・連携 で幸せ実感

幸 約 27 新たなタウンミーティングとして、世代別や職業別の対話形式による政策形成を行います。

主な取組実績

- ・新たに「世代別」「職業別」のタウンミーティングを実施
- ・1期目からの通算で開催回数100回超、100回目は高校生タウンミーティングを開催
- ・100回を記念して「市長！聞いてや！私の思いin松山城」「飛ばそうや！夢ひこうき！in松山城」を開催



▲ 100回目のタウンミーティング
(松山東高等学校)

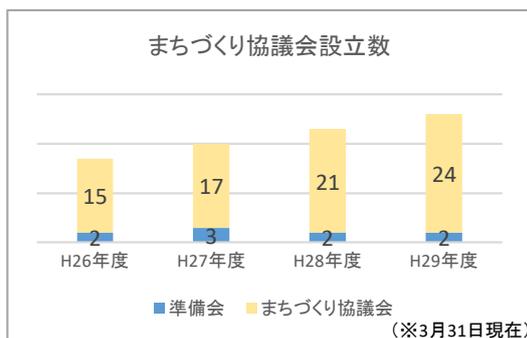


▲ 市長！聞いてや！私の思いin松山城

幸 約 28 まちづくり協議会の結成や活動を支援します。市民の「意識調査」や「まちづくり提案制度」を実施して市政へ反映するなど、市民が主役のまちづくりを展開します。

主な取組実績

- ・まちづくり協議会の結成を支援し、4年間で新たに13地区の11協議会（準備会含む）を設立
- ・第6次総合計画に掲げる各施策の重要度、満足度、優先度について毎年、市民意識調査を実施
- ・子どもや若者のまちづくり活動を支援するため、次世代育成支援事業（まちづくり提案制度）を開始



▲ まちづくり提案制度 審査会

愛媛県と松山市の緊密な関係のもと、県・市の連携政策をさらに推進します。市長会や他都市と連携した効率的で広域的な政策、産・学・官が連携したオール松山の政策、姉妹都市や友好都市、台北市と連携した国際的な政策を推進します。

主な取組実績

- ・愛媛県と県内20市町の連携はこれまで176施策を実施、4年間で86の新規施策を創出
- ・岡山市、広島市、高松市とともに「瀬戸内4県都 市長会議」を発足
- ・市内4大学2短大との連携強化
- ・「松山創生人口100年ビジョン」と「松山創生人口100年ビジョン先駆け戦略」策定、産官学金労言のオール松山で地方創生の施策を推進
- ・近隣5市町と「連携中枢都市圏」を形成
- ・市内121の企業、団体とともに「イクボス合同宣言」
- ・平澤市（韓国）との友好都市提携10周年、サクラメント市（アメリカ）との姉妹都市提携35周年を記念して交流事業を実施、フライブルク市（ドイツ）と環境分野で交流
- ・台北市との友好交流協定期間を延長し、再調印
- ・台湾からの観光客数は、交流事業を開始した平成21年と比較して18.8倍の4万3,300人（H28）



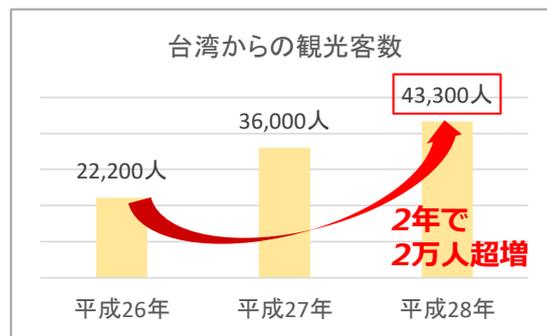
▲ 聖カタリナ大学・同短期大学部、松山東雲女子大学・同短期大学と連携協定締結



▲ イクボス合同宣言式



▲ 台北市との友好交流協定再調印



行政改革の推進や財源の確保、施設のマネジメントなどによって持続的・効率的な行財政運営を行います。職員のコンプライアンスを徹底して市民に信頼される市役所づくりを行います。

主な取組実績

- ・「松山市人材育成・行政経営改革方針」を策定し、「行政改革」と「人材育成」を一体的に推進
- ・平成29年度当初予算編成で121の事務事業を見直し、約6億円の財源を捻出
- ・小中学校へのエアコン整備にPFI手法を採用し、コスト削減、工期短縮を実現
- ・市職員数は、他の中核市と比較して少ない水準を維持
- ・「健全な財政運営へのガイドライン」に定める全数値目標をクリアし健全財政を維持（H28年度決算）
- ・「松山市公共施設再編成計画」を策定
- ・全職員を対象とした公務員倫理研修や、不祥事の再発防止に向けた8つの取り組みなど、職員のコンプライアンスを徹底

連携

できごと

民間との連携

- 四国DC開催に向けて、「松山市・JR四国 連携協力に関する協定書」締結
- 災害協定を締結（市内郵便局、株式会社ダイキアクシス、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、松山衛生事業協同組合など）
- 西日本電信電話株式会社と包括連携協定を締結
- 就職・創業、就農、住まい、福祉、教育の5分野18団体で、『いい、暮らし。まつやま移住支援チーム』を発足
- 市内121の企業・団体と、イクボス合同宣言を実施
- 郵便局と「道路の損傷等危険箇所の情報提供に関する協定」調印
- 株式会社ぐるなびと「食と観光を通じた連携協定」を締結
- 松山市医師会、松山市歯科医師会、松山薬剤師会と「地域包括ケアシステムの構築推進に関する連携協定」調印
- 資生堂と「椿パートナー協定」を締結
- 森ビル株式会社と「中心市街地活性化及び観光・芸術分野の振興に関する連携協定」を締結
- サイボウズ株式会社と「働き方改革先進都市まつやまの実現に向けた連携協定」を締結
- 東京海上日動火災保険株式会社と「地方創生に関する包括連携協定」を締結
- 伊予鉄道株式会社と包括連携協定を締結

できごと

大学との連携

- 愛媛大学と協同し「実践的学生防災リーダー育成プログラム」を実施
- 愛媛大学防災リーダークラブを結成
- 聖カタリナ大学・同短期大学部及び松山東雲女子大学・同短期大学と連携協定を締結
- 松山市教育委員会が、愛媛大学教育学部との連携協力に関する覚書に調印
- 東京理科大学と「夏目漱石・『坊っちゃん』をゆかりとした文化交流や科学啓発等に関する協定」を締結
- 愛媛大学、愛媛県法人会連合会と「データ利活用に関する連携協力協定」を締結

できごと

県や他都市等との連携

- 松山市・博物館明治村「明治体感パートナーシップ協定」を締結
- 新宿区と「夏目漱石をゆかりとした歴史・文化及び観光交流に関する協定」を締結
- 岡山市、広島市、高松市、松山市で「瀬戸内4県都市会議」を開催
- 「災害時における愛媛県市町相互応援に関する協定」を締結
- 斑鳩町と「観光・文化交流都市協定」を締結
- 横須賀市との「観光交流都市協定」を3年間継続
- 連携中枢都市宣言を実施、「松山圏域連携中枢都市圏 連携協約」を締結
- 市内8ミュージアムで「愛媛/松山ミュージアムストリート連絡協議会」を設立
（坂の上の雲ミュージアム、子規記念博物館が参加）
- 台湾・台北市と友好交流協定を再調印

受賞

暮らし

主婦が幸せに暮らせる街ランキング 全国5位・四国1位 (株式会社学研パブリッシング)

シティブランドランキング-住みよい街2017- 中四国ブロック1位 (日経BP社)

シティブランドランキング-住んでみたい自治体編- 中四国ブロック1位 (日経BP社)

住みたい田舎ベストランキング 四国エリア1位 【3年連続】 (株式会社宝島社)

まちづくり

松山市のこたばを大切にすまちづくりが、平成26年度文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門) 受彰 (文化庁)

松山市こたばのちから実行委員会が、平成27年度ふるさとづくり大賞 団体表彰(総務大臣賞) 受賞 (総務省)

NPO法人俳句甲子園実行委員会が、平成28年度地域づくり表彰 全国地域づくり推進協議会会長賞 受賞 (国土交通省)

NPO法人俳句甲子園実行委員会が、地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰 団体表彰 受賞 (総務省)

「坊っちゃん文学賞」の募集広告が、第58回日本雑誌広告賞 銀賞 受賞 (一般社団法人 日本雑誌広告協会)

「ロープウェイ街・大街道周辺地区」が、平成28年度都市景観大賞(都市空間部門) 国土交通大臣賞 受賞 (都市景観の日) 実行委員会)

「道後温泉周辺地区」が、2016年アジア都市景観賞 受賞 (国連ハビタット福岡本部・アジア人間居住環境協会・公益財団法人福岡アジア都市研究所・アジア景観デザイン学会)

「松山アーバンデザインセンター」が、2016年度 グッドデザイン賞 受賞 (公益財団法人日本デザイン振興会)

「もぶるテラス・みんなのひろば」が、第2回まちなか広場賞 大賞 受賞 (一般社団法人国土政策研究会・公共空間の「質」研究部会)

「みんなのひろば」が、ソトノバ・アワード2017 準大賞 受賞 (ソトノバ)

観光

道後温泉が、ココロ潤う。おんな一人旅に人気の温泉地ランキング 1位 【4年連続】 (楽天トラベル)

道後温泉が、温泉総選挙2016 女子旅部門 1位 (うるおい日本プロジェクト(一般財団法人 日本エンパワーメントコンソーシアム))

道後温泉が、じゃらんアワード2016 じゃらん編集長が選ぶ「元気な地域大賞」 【2年連続】 (じゃらん)

道後温泉本館が、みんなで選ぶ温泉大賞 日帰り温泉部門 第5位 (ビッグロブ株式会社)

松山城が、旅好きが選ぶ!日本の城 ランキング2017 第3位 (トリップアドバイザー)

松山城二之丸史跡庭園が、恋人の聖地 観光交流賞 受賞 (NPO法人地域活性化支援センター・株式会社シーライン東京)

松山城山ロープウェイが、トリップアドバイザー2015年エクセレンス認証 受賞 (トリップアドバイザー)

四国遍路が日本遺産に認定 (文化庁)

防災・環境

松山市自主防災組織ネットワーク会議が、平成28年度 防災功労者内閣総理大臣表彰 受賞 (内閣府)

松山市消防局が、第1回予防業務優良事例表彰 消防庁長官賞 受賞 (総務省消防庁)

松山市の若い世代への防災教育が、第22回防災まちづくり大賞 日本防火・防災協会会長賞 受賞 (総務省消防庁)

松山市の1人1日当たりのごみ排出量(人口50万人以上の都市) 10回目の最少を達成 (環境省)

「エコ次亜事業」が、平成29年度 資源循環技術・システム表彰 奨励賞 受賞 (一般社団法人産業環境管理協会)

2期目就任からの歩み

2014 (H26) 年

11月	2期目スタート
12月	松山市子育て情報WEBサイト「カンガ（工）ルーカフェ」開設

2015 (H27) 年

1月	松山市子ども育成条例制定10周年記念「第9回松山市青少年育成市民大会」の開催
2月	耐震改修工事が完了し中島支所が開所 第53回愛媛マラソンを参加者過去最多の参加者1万人で開催 世代別・職業別の新たなタウンミーティングをスタート（松山大学で初開催） 松山市 北条市 中島町 合併10周年記念式典（北条市民会館）
3月	松山市 北条市 中島町 合併10周年記念式典（中島総合文化センター） 中央浄化センター消化ガス発電設備通電式
4月	子ども医療費助成の入院費に対する助成対象を拡大（小6まで⇒中3まで） 市総合福祉センター内に松山市権利擁護センターを設置
5月	俳人・夏井いつきさんを「俳都松山大使」に任命 地域防災協議会設立総会を開催 第1回松山市総合教育会議を開催
6月	笑顔de婚活 まつやま巡り愛プロジェクト 第1回「笑顔のめぐり愛イベント」の開催 地域カパワーアップ大会を初開催
7月	ひとり親家庭医療費助成を父子家庭にも対象拡大 「光のおもてなしin松山城」の開催 上島町から譲り受けた救急艇「うみねこ」が就航
8月	帝人株式会社松山事業所「技術開発センター」開所 株式会社ベンチャーアソシエイツ 松山支社開所 2015年WBSC U18ワールドカップチャイニーズ・タイペイ代表チームが坊っちゃんスタジアムで事前合宿 第30回トリアスロン中島大会開催 「AEL MATSUYAMA（アエル松山）」開業 第1回松山圏域連携協議会・第1回松山圏域活性化戦略会議、松山市地方創生女性会議・若者会議を開催
10月	「蜷川実花×道後温泉 道後アート2015」グランドオープン 松山市救急ワークステーション開所 第1回瀬戸内4県都市会議を開催 戦後70年松山市平和記念事業 松山市戦争犠牲者追悼式を開催 松山市代表団が平澤市を答礼訪問 人間国宝・豊竹嶋大夫氏に松山市文化スポーツ栄誉賞を贈呈 松山市友好交流訪問団が台北温泉まつりに参加
11月	第1回銀天街L字地区再開発検討専門部会を開催 第1回『坂の上の雲』のまち松山 サイクルロゲイニング大会を開催 えひめ・まつやま産業まつり「すごいもの博2015」を開催 第1回日本アボカドサミットを開催
12月	紅まどんなトップセールスを実施（東京・大田市場、日本橋三越） 華道家 假屋崎吾吾の世界 -華のおもてなしin松山城- の開催 “北条鯛めし”おたメシ！キャンペーンを開催、風早にぎわいまつりを開催

2016 (H28) 年

1月	松山市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略を策定
2月	株式会社KDDIが「L」電報受付センター開所 大森利夫氏、宮内一郎氏をまつやま応援大使に任命 老朽化に伴う建替えを実施していた北条浄水場が完成
3月	三津浜地区チャレンジショップ1号店がオープン 朝生田ふれあいセンター落成 松山市中小企業振興計画を策定 久谷地区簡易水道統合整備事業が完成
4月	松山医療圏域3市3町の二次救急医療体制を強化（愛媛医療センターが救急病院として参加） 首都圏まつやま移住相談窓口を開所 松山市教育研修センター開所 まつやま経営交流プラザを「未・来（みらくる）Jobまつやま」にリニューアル（銀天街ゲット内） 北条スポーツセンター野球場落成 平成28年熊本地震の被災地に緊急消防援助隊愛媛県統合機動部隊が出動 熊本市に松山市の備蓄物資を搬送、熊本地震被災地に保健師や水道応急復旧隊を派遣 和泉雨水排水ポンプ場が完成 「道後アート2016」オープン
5月	えひめ国体なぎなた競技リハーサル大会を開催（H29.3月まで各種競技のリハーサル大会を開催） 北条地区有害鳥獣生息状況調査報告会を開催
6月	河野小学校グラウンドへの芝生の苗を植え付け 「まつやま圏域未来共創ビジョン」を決定 「松山ひじき」をまつやま農林水産物ブランドに認定（9品目目）
7月	松山市出身で首都圏の大学に通う学生による「松山愛郷会youth」を立ち上げ 「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」建設工事起工 移住専門誌「TURNS」と連携した交流イベントを初めて開催(東京都千代田区) 松山市北条児童センター開所
8月	地域おこし協力隊が就任 平澤市代表団が松山まつりに参加、孔在光 平澤市長に特別名誉市民を贈呈 怒和地区簡易水道生活基盤近代化事業が完成 移住者交流会「いい、暮らし。松山交流カフェ」初開催 第45回全国消防救助技術大会を開催（四国初開催） 2020東京オリンピック事前合宿誘致のトップセールスを実施（台湾）
9月	余土中学校新校舎落成 てくるん来館者50万人達成 初開催の「瀬戸内くらしフェア」に松山市の移住相談ブースを出展
10月	まつやま人口減少対策推進会議設立総会を開催 鳥取県中部地震の被災地に給水車を派遣 フライブルク市で開催された「地域再生可能エネルギー会議」で松山市の取組事例を発表
11月	イクボス合同宣言式を開催 「いい、暮らし。まつやま お仕事相談会」を東京で初開催（移住・交流情報ガーデン） 「ゆるきゃらグランプリ2016in愛顔のえひめ」「全国ご当地こなもんサミット2016in松山」を開催 「笑顔のまつやまわがまち工房」市長トークの開催（テーマ「デザインしよう！わたしたちのこども館」）
12月	東京オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン（対象地域：台湾）に登録 古川IC～市坪IC間の自動車専用道路が開通し、松山外環状道路インター線全線開通 銀天街L字地区再開発等基本計画を策定 「光のおもてなし in Winter ～アクア・フェリーチェ～」を開催

2017 (H29) 年

1月	<p>松山城登頂ウォーキングを開始</p> <p>管理職のイクボス宣言式とイクボス研修を実施</p> <p>松山圏域中小企業販路開拓市を開催</p>
2月	<p>タウンミーティング100回記念特別企画「市長！聞いてや！私の思いin松山城」を開催</p> <p>まつやま創業者クラブを設立</p> <p>松山市独自の健康づくり体操をリニューアルし、名称を「まつやま週イチ体操（まつイチ体操）」に決定</p> <p>第100回～市長と話そう～高校生タウンミーティングを開催</p> <p>まつやま教育研修センターフェスタ2017開催</p> <p>長期的水需給計画基本計画（改訂版）を策定</p> <p>「まつやま内水ハザードマップ」を全戸配布</p> <p>「松山市公共施設等総合管理計画」と「松山市公共施設再編成計画」を策定</p> <p>坂の上の雲ミュージアム第11回企画展テーマ展示「好古・真之・子規-明治20年代初頭」を開催（～H30.2月）</p>
3月	<p>てくるん5周年記念イベントを開催</p> <p>ドローンで松山の魅力をPRする動画を作成</p> <p>「松山市北部福祉交流の家」開所</p>
4月	<p>四国デスティネーションキャンペーン開始（～6月）</p> <p>移住交流施設「ハイムインゼルごごしま」オープン</p> <p>子規記念博物館常設展リニューアルオープン</p> <p>開催50年記念松山春まつり（お城まつり）を開催</p> <p>横谷埋立センターエコ次亜生成施設開所（日本初松山方式）</p> <p>味生子ども・子育て施設開所</p> <p>湊町三丁目C街区地区市街地再開発準備組合設立</p> <p>坂の上の雲ミュージアム開館10周年記念感謝デー</p>
5月	<p>北条鹿島まつり開催（新鹿園オープニング、恋人の聖地愛鍵セレモニー）</p> <p>一番町一丁目・歩行町一丁目地区市街地再開発準備組合設立</p> <p>第142回四国市長会議で四国市長会長に就任</p> <p>松山市が国から「地域資源を活用した観光地魅力創造事業」の地域に3年連続で選定</p> <p>姉妹都市提携35周年を記念して、サクラメント市を答礼訪問</p>
6月	<p>節水型トイレ改修助成を開始</p> <p>「日台観光サミットin四国」に合わせて、愛媛県知事・松山市長主催歓迎晩餐会を開催</p> <p>第31回宇宙技術および科学の国際シンポジウム（ISTS）愛媛・松山大会を開催</p>
7月	<p>余土子ども・子育て施設開所</p> <p>北条公園（波妻地区）に「波妻の鼻わくわくランド」開園</p> <p>子規・漱石・極堂生誕150年記念「まつやま子規亭」（第1夜）を開催</p>
8月	<p>第99回全国高等学校野球選手権大会に出場する済美高等学校の壮行会を開催</p> <p>坂の上の雲ミュージアム来館者150万人達成</p> <p>子規・漱石生誕150年記念 第20回俳句甲子園全国大会を開催</p>
9月	<p>松山市立の全中学校と一部の小学校でエアコンの使用を開始</p> <p>「道後オンセナート2018」プレオープン</p> <p>坂の上の雲ミュージアム開館10周年記念 没後20年司馬遼太郎展「21世紀“未来の街角”で」開催</p> <p>松山外環状道路空港線の側道（余戸南三丁目から南吉田町の2.4キロメートル）が開通</p> <p>まつやま農林水産物ブランドに「グニユーカリ」を認定（10品目目、花き部門では初）</p> <p>愛媛県からの「西条と松山の水問題に対する6つの提案」に回答</p> <p>「花園町通り」リニューアル</p> <p>道後温泉別館 飛鳥乃湯泉 オープン</p> <p>愛顔つなぐえひめ国体 総合開会式を開催</p>

2017 (H29) 年

10月	<p>「道後オンセナート2018」特別参加作品 蛭川実花「道後温泉本館インスタレーション」の展示を開始</p> <p>「子規・漱石・極堂生誕150年記念式典」を開催</p> <p>台湾・台北市と友好交流協定再調印</p> <p>総合コミュニティセンターこども館に「子育てひろばToi Toi Toi」がオープン</p> <p>愛顔つなぐえひめ大会 開会式を開催</p>
11月	<p>道後温泉第4分湯場オープン</p> <p>東京ヤクルトスワローズ松山秋期キャンプ継続の協定調印</p> <p>松山-ソウル線就航</p> <p>修学旅行誘致学校数500校達成記念セレモニー開催</p> <p>「Uターン就職希望学生と若手社会人との交流会（マツヤマカフェ）」を初開催</p> <p>西条市を訪問し、県提案の6項目の松山市の回答について説明し協力を依頼</p> <p>第1回まつやま働き方改革推進会議を開催</p> <p>松山出身のラブリさんを「いい、加減。まつやま」応援団 特別団員に任命</p> <p>U-15アジアチャレンジマッチ2017を開催</p> <p>子規・漱石生誕150年記念 第15回坊っちゃん文学賞 表彰式（漱石アンドロイドが出席）</p> <p>松山外環状道路「インター東線（仮称）」の新規事業化を国に要望</p>
12月	<p>道後温泉本館保存修理工事費用の寄附（クラウドファンディング）の募集開始</p> <p>マイナンバーカードを活用した「松山市ポイント（自治体ポイント）」実証実験を開始</p> <p>道後温泉別館 飛鳥乃湯泉グランドオープン</p>

2018 (H30) 年

1月	<p>オリンピック・パラリンピック東京2020大会のマスコット小学生投票に参加</p> <p>「第6回LRT都市サミット松山2017」を開催</p> <p>「夜明けのブルース」歌碑序幕式を開催</p> <p>平澤FC U-18サッカーチームが来松、交流試合を実施</p> <p>「第5回 全国城サミットin松山」を開催</p> <p>「いい、つばきの日」記念イベントを開催</p>
2月	<p>子規・漱石生誕150年記念international Photo-Haiku Festivalを開催</p> <p>第1回「まつやま・いじめ0の日」で、市内全小中学校でいじめをなくすための取組を実施</p> <p>「まちづくり子どもサミット」を開催</p> <p>早坂暁氏に市民栄誉賞（市政功労者表彰の最高位）を授与、早坂暁氏の追悼展を開催</p> <p>子規・漱石生誕150年記念 響け!! 言霊 第10回“ことばのがっしょう”群読コンクールを開催</p> <p>坂の上の雲ミュージアム第12回企画展「明治青年 秋山真之」を開催（～H31.2.17）</p>
3月	<p>「こども館クラブ」を設置、「『創ろう！ボクらの遊び場』ちゃれんじこども館」を開催</p> <p>新編「ふるさと松山学 先人伝」を小中学校に贈呈</p>